

飼料米の利活用と肉牛生産

2014年 **10月17日** (金) **13:00~17:00**

場所: **とかちプラザ2階視聴覚室**

所在地: 帯広市西4条南13丁目1番地 電話: 0155-22-7890



わが国の牛肉生産は、配合飼料原料の大部分を輸入に依存してきましたが、近年の穀物価格の高騰による飼料価格の高止まりやこれに追い打ちをかける為替の円安傾向により、肉牛経営は非常に厳しい状況に直面しています。国際的な飼料需給の変動や為替変動などに左右されない安定した経営を確立するためには、地域副産物や自給飼料を活用して輸入飼料を減らし、堆肥を畑地に還元する資源循環型肉牛生産の重要性を再認識する必要があります。

現在、日本は、長年続いた減反政策を見直し、飼料米の生産推奨へと大きく舵を切りました。飼料米により輸入穀物飼料の主たるトウモロコシを代替できる可能性が高まり、自給率の向上に少なからず貢献するものと考えられます。しかしながら飼料米は、鶏・豚用への飼料活用が大半を占め、牛への利活用は未知数です。本シンポジウムは、飼料米の肉牛への利活用とその展望について、生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型肉牛生産の意義浸透を図りたいと考えています。各方面から多くの方々のご参加をお待ち致しております。

基調講演 「飼料米の肉牛生産における利活用」

(独) 農研機構畜産草地研究所 家畜飼養技術研究領域 主任研究員 樋口 幹人 氏

話題提供1 「北海道内の飼料米の生産事例」

農業生産法人合同会社「Aのー(えーのー)」代表 大村 正利 氏

話題提供2 「肉牛における飼料米の給餌事例」

(有) 足寄ひだまりファーム 代表 沼田 正俊 氏

話題提供3 「飼料米ととうもろこしサイレージを活用した肉牛生産技術の開発」

道総研畜産試験場 肉牛G 斎藤 早春 氏

パネルディスカッション

パネラー: 樋口 幹人氏、大村 正利氏、沼田 正俊氏、斎藤 早春氏、消費者代表

司会: 花房俊一(環境リサイクル肉牛協議会)

意見交換会・e-びーふ試食会

場所: 東急イン

参加希望者のみ 参加費別途 ¥3,500

10月17日(金) 18:00~20:00

試食会参加者を対象に、畜大口田研究室主催で牛肉の食味試験を予定しています。ご協力よろしくお願い致します。

現地地検討会

場所: 足寄ひだまりファーム

10月18日(土) 9:00~12:00

参加希望者のみ

主催: 環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道日本短角種研究会

共催: 北海道総合研究機構畜産試験場、十勝農業協同組合連合会、帯広市

後援: 帯広畜産大学、北海道十勝総合振興局、NHK帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

シンポジウム申込み・問い合わせ先

(地独) 道総研 畜産試験場 技術支援グループ 担当 佐藤幸信

Tel: 0156-64-0626, Fax: 0156-64-5348

e-mail: satou-yukinobu@hro.or.jp

シンポジウム事務局

持定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会 花房俊一

〒080-2463 帯広市西23条北2丁目17-6 マルハニチロ

Tel: 0155-67-8433, 090-3899-1293

e-mail: kanrikyo@grape.plala.or.jp

環境リサイクル肉牛協議会の活動

環境リサイクル肉牛協議会は、資源循環型牛肉生産の普及・展開を目的として2008年に特定非営利活動法人に認可されました。飼料自給率30%以上(乾物換算)を達成し堆肥を畑地還元する資源循環型生産体制で生産された肉牛を環境にやさしい生産方式による肉牛として認証するe-びーふ認証制度を展開し、副産物飼料に関する情報を提供しています。資源循環型牛肉生産シンポジウムでは未利用飼料資源の活用、地域の副産物利用による牛肉生産について生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図っています。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

プログラム

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:10 基調講演 「飼料米の肉牛生産における利活用」

(独)農研機構畜産草地研究所 樋口 幹人氏

14:10～14:20 休憩

14:20～14:50 話題提供1 「北海道内の飼料米の生産実例」

(農法) A の一(えーのー) 大村 正利氏

14:50～15:20 話題提供2 「肉牛における飼料米の給餌実例」

(有)足寄ひだまりファーム 沼田 正俊氏

15:20～15:50 話題提供3 「飼料米ととうもろこしサイレージを活用した肉牛生産技術の開発」

15:50～16:00 休憩

道総研畜産試験場

斎藤 早春氏

16:00～16:50 パネルディスカッション

16:50～16:55 閉会挨拶

意見交換会・e-びーふ試食会 日時/10月17日(金) 18:00～20:30

場所/東急イン 参加希望者のみ 会費/¥3,500

試食会参加者を対象に、畜大口田研究室主催で牛肉の食味試験を予定しています。ご協力よろしくお願いします。

現地検討会

日時/10月18日(土) 9:00～12:00

場所/足寄ひだまりファーム 参加希望者のみ

参加申込書

締切期限

10月10日

参加される方は、FAXまたはE-mailで必要事項を記入の上お申し込みください。

道総研 畜産試験場 技術支援グループ 担当 佐藤幸信

FAX送付先 0156-64-5348

e-mail: satou-yukinobu@hro.or.jp

※参加の方は、それぞれに○印をお付けください



氏名	連絡先(TEL)	シンポジウム	意見交換会	現地検討